

令和7年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～介護関係者向け～
アンケート集計結果(令和8年2月12日開催分)

n=24 (回収率 96.0 %)

研修参加人数:25名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	21	(87.5%)
・北斗市	3	(12.5%)
・七飯町	0	(0.0%)
計	24	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	4	(16.7%)
・介護機関	17	(70.8%)
・その他	3	(12.5%)
計	24	(100.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	0	(0.0%)
・保健師	1	(4.2%)
・看護師	0	(0.0%)
・ケアマネジャー	13	(54.2%)
・相談員	4	(16.7%)
・介護職員	1	(4.2%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	4	(16.7%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	0	(0.0%)
・その他(社会福祉士)	1	(4.2%)
計	24	(100.0%)

4. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	23	(95.8%)
・どちらともいえない	1	(4.2%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
計	24	(100.0%)

【ご意見等】

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ MSWが患者、家族との関わり方を大変工夫されている様子がわかった。私たちは可能な限り在宅復帰をさせてあげたいので、病院とは退院後も相談させていただき、アドバイスをもらいたいと思う。
- ・ 実際に病院で相談員が考えて対応されていることを聞くことができて良かったです。
- ・ 医療サイドの役割、具体的な業務内容を知ること、より効率的な連携ができる。
- ・ 回復期の病院やMSWの役割など学ぶことができました。
- ・ 普段連携していて、相手側の動きや流れが理解できた。
- ・ MSWやセラピスト直々の話を聞いたのがよかった。

<相談員>

- ・ 回復期から依頼(入所相談)を頂く上で、看取りor在宅復帰を目指すこともあり、病院で行っていたリハビリが施設ではできないこともあり、もどかしさを感じるがありました。今回の講義で回復期病床の役割も知ることができ、介護医療院として連携を図って行けたらと思いました。
- ・ 具体的に回復期リハビリやその実際について理解することができたのでよかった。理解できたと同時に直接お話を伺うことで身近に感じる事ができるので、今後も参加してみたいと思います。

<介護職員>

- ・ とてもわかりやすくて内容がきちんと頭の中に入ってきました。ありがとうございました。

【その他】

<保健師>

- ・ 講師所属の病院体制がわかった。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 病院と訪問診療医師との連携(検査等の情報の提供等)、訪問リハビリと通所リハビリの内容の違い、できること・できないこと、PT・OT・STのリハビリの提供の内容の違い。
- ・ 医療との連携の取り方、情報提供やり方等。
- ・ より連携がスムーズになるような研修を受けたい。
- ・ ACP。

<相談員>

- ・ 介護医療院の内容や対応可能な範囲など、実際に働いていてもわからないことも多く、市内の介護医療院の現状など知る機会があればと思いました。

6. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

【その他】

<保健師>

- ・ いつも研修企画ありがとうございます。出席させていただき関係機関の取り組みについて情報を得ることもでき、学習の機会にもなり、とてもありがたいです。